



AI品質マネジメントイニシアティブ
WG1 SIG RegulationLaw

AI規制・法令対応情報の収集・分析

2026年03月31日

主要国・地域のAI Regulation/Law動向 サマリ

欧州AI法の厳格すぎる規制内容への反発、米国のAI政策転換等を背景に、イノベーション促進の方向に変化

日本	AI推進法(人工知能関連技術の研究開発及び活用の推進に関する法律、'25/6施行)とAI事業者ガイドライン('24/4初版発行)を軸に、AIのイノベーション促進とリスク対策をバランスした(実質的な)ソフトロー規制を採用。AI推進法に基づくAI基本計画を策定・公表('25/12)
米国	<ul style="list-style-type: none">• '25/1の政権交代・新大統領令により、従前の西欧諸国と協調する立場から、経済合理性、国家安全保障を重視した政策に転換。米国AI行動計画('25/7発行)にて、自国AI産業の活性化と国家安全保障に関わるルール策定を明言• 連邦法不在のまま各州で州法が成立し複雑な法体系であるが、<u>連邦法の枠組みが顕在化('26/3)</u>
欧州	<ul style="list-style-type: none">• AIの安全性確保と基本的人権の尊重を重視する世界初の汎用AI法(EU AI Act、'24/8施行)について、他国、欧州域内からも厳しすぎる規制への反発強まる。<u>AI Actを含むデジタル法令対応の簡素化を検討中(Digital Omnibus、'25/11~)</u>• AI大陸行動計画('25/4)にて、EUとしてのAI投資拡大を宣言
中国	<ul style="list-style-type: none">• AIを国家の重要戦略技術と位置付けAI大国を目指す('17 新世代人工知能開発計画、「AI+」アクション、等)。AIセーフティ・ガバナンス・フレームワークによる安全で信頼できるAIエコシステムの構築も推進• 他国に先駆けて生成AIサービスに対する法規制を開始。OECD原則を踏まえる一方、自国体制の堅持を掲げるなど独自の原則を規定

国内のAI Regulation/Law関連文書

AI推進法、AI事業者ガイドラインを基礎としてAIの適正な利活用を促進することが規制・法令の考え方の基本。その実践上留意すべき観点ごとに参照すべき指針、ガイドライン、標準規格等を抽出・整理

文書名	対象AI種別	AIガバナンス	AIライフサイクル	AI品質特性	人間中心	安全性	公平性	プライバシー保護	セキュリティ確保	透明性	アカウンタビリティ	公正競争確保	イノベーション	データマネジメント
AI推進法(人工知能関連技術の研究開発及び活用の推進に関する法律)	AI全般	○				○				○	○		○	
AI事業者ガイドライン	AI全般	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
人工知能関連技術の研究開発及び活用の適正性確保に関する指針	AI全般	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
AIのセキュリティ確保のための技術的対策に係るガイドライン	生成AI								○					
機械学習品質マネジメントガイドライン	従来AI		○	○		○	○	○	○	○	○			○
生成AI品質マネジメントガイドライン	生成AI		○	○		○	○	○	○	○	○			○
AIプロダクト品質保証ガイドライン	生成AI		○	○		○	○	○	○	○	○			○
人間中心のAI 社会原則	AI全般				○									
人工知能に関する理事会勧告	AI全般				○									
全てのAI関係者向けの広島プロセス国際指針	生成AI					○		○	○	○	○			
AIセーフティに関する評価観点ガイド	生成AI		○			○								
AIセーフティに関するレッドチームing手法ガイド	生成AI		○			○								
データ品質マネジメントガイドブック	AI全般		○	○										○
OWASP Top 10 for LLM applications	生成AI			○					○					
OWASP Agentic AI - Threats and Mitigations	AIエージェント			○										
AI・データの利用に関する契約ガイドライン	AI全般											○		
AIの利用・開発に関する契約チェックリスト	AI全般											○		
生成AI開発契約ガイドライン	生成AI											○		
デジタルスキル標準	AI全般	○												
生成AIはじめの一步	生成AI	○												
コンテンツ制作のための生成AI 利活用ガイドブック	生成AI	○												
ISO/IEC 42001 (JIS Q42001)	AI全般	○	○											
ISO/IEC 38507(JIS Q38507)	AI全般	○												
ISO/IEC 5259-X	AI全般		○	○										○
ISO/IEC 42005	AI全般	○												
ISO/IEC 23894	AI全般	○	○											
ISO/IEC 25059	AI全般			○										
ISO/IEC TS 22440-X	AI全般					○								
ISO/IEC 22989 (JIS X22989)	AI全般	○												

米国のAI Regulation/Law関連文書

自国のAI産業活性化と国家安全保障に軸足を置く連邦指針と、州ごとのAI関連法が共存する複雑な規制・法令体系。その遵守上留意すべき観点ごとに参照すべき指針、ガイドライン、標準規格等を抽出・整理

表作成中

欧州のAI Regulation/Law関連文書

人権の尊重を重視するAI Actを中心に、関連デジタル法令との関係も踏まえた規制・法令対応が求められる。その遵守上留意すべき観点ごとに参照すべき指針、ガイドライン、標準規格等を抽出・整理

表作成中

中国のAI Regulation/Law関連文書

AIイノベーション促進と自国体制の堅持を軸とした規制・法令体系で、他国に先駆け生成AIサービスに法規制を施行。その遵守上留意すべき観点ごとに参照すべき指針、ガイドライン、標準規格等を抽出・整理

分類	文書名	対象AI種別	AIガバナンス	AIライフサイクル	AI品質特性	安全性	セキュリティ	生成コンテンツ管理	データマネジメント	アルゴリズム監査	説明性	公平性	頑健性	サプライチェーン	認知	AIの悪用	雇用影響	サステナビリティ	倫理
法令	生成AIサービス管理暫行弁法	生成AI				○	○			○						○			○
	インターネット情報サービスアルゴリズム推薦管理規定	AI全般				○	○			○									
	インターネット情報サービスにおけるディープシンセシス管理規定	生成AI				○	○	○		○									
	AI生成合成コンテンツ標識弁法	生成AI						○											
ガイドライン	AIセキュリティ・ガバナンス・フレームワーク	AI全般	○	○		○	○						○			○			○
標準規格	GB/T 45654-2025「サイバーセキュリティ技術 生成式AIサービスのセキュリティ基本要素」	生成AI					○												
	GB 45438-2025「サイバーセキュリティ技術 AIで生成・合成されるコンテンツのラベリング方法」	生成AI						○											

その他の国・地域のAI Regulation/Law関連文書

グローバルサウスの状況、等...

表作成中

P3～P7にリストアップする文書の一件一葉説明を追加予定